

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ競技映像等撮影配信業務委託
仕様書

1 委託業務名

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ競技映像等撮影配信業務

2 趣旨

今秋開催する「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」（第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会。（以下、「両大会」という。））は、「湖国の感動 未来へ繋ぐ」をスローガンに、「する」「みる」「支える」すべての人が主役として輝ける大会を目指している。また、両大会の開催を契機に推進するポイントとして「スポーツの力でつくる共生社会」を掲げ、みんなが大会を楽しめる環境づくりを進めている。

両大会の開催にあたり競技会場に足を運べない方にも「みる」機会を提供することで、スポーツの普及振興、障害者理解の向上およびレガシーの継承等を図ることを目的に、以下の内容により競技会の映像撮影および配信を行う。

3 履行期間

契約締結日から令和7年12月26日(金)までとする。

4 業務の範囲

受託者は撮影した競技会の映像をわた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会（以下、「実行委員会」という）が指定する映像配信プラットフォーム（以下、「プラットフォーム」という。）に映像データを配信等することで、競技会のライブ配信および競技会終了後のアーカイブ配信を実現する。

大会	プラットフォーム	受託者が撮影する 競技会	プラットフォームに配信等 を行う映像
わた SHIGA 輝く国スポ (以下、「国スポ」という。)	国スポチャンネル※1	正式競技(決勝戦等)	①受託者が撮影する映像 ②市町等が撮影した映像※2
わた SHIGA 輝く障スポ (以下、「障スポ」という。)	YouTube	全試合	受託者が撮影する映像

※1 (公財)日本スポーツ協会（以下、「JSP0」という。）が運営する専用プラットフォーム

<https://japangamestv.japan-sports.or.jp/>

※2 競技運営を担当する市町等が撮影する一部の競技（予選の配信含む）について、受託者は市町等から当該映像をもらって国スポチャンネルのサーバーにアップロードを行う。（以下、「もらい映像」という。）

5 撮影・配信する競技会等の範囲

撮影および配信等を行う競技会等の対象は次のとおり。会場や日程の詳細は別紙「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ撮影配信計画表（以下、「別紙一覧表」という。）」を参照すること。なお別紙一覧表は現地視察や各所調整等を踏まえ 8 月中には固める予定。

【国スポ】

業務	対象範囲 [配信数の想定]	対象の競技会[競技会番号および競技名]
撮影	正式競技 (決勝戦等)	①陸上 ②水泳（競泳/飛込/水球/アーティスティックスイミング/オープンウォータースイミング） ③サッカー ④テニス ⑥ホッケー ⑧バレーボール（一部除く） ⑨体操（競技/新体操/トランポリン） ⑩バスケットボール ⑪レスリング ⑭ハンドボール ⑯ソフトテニス ⑰卓球 ⑱軟式野球 ⑲フェンシング ⑳ソフトボール ㉔ライフル射撃（50m/10m/BR・BP） ㉕剣道 ㉖ラグビー ㉗スポーツクライミング ㉘なぎなた ㉙ボウリング ㉚ゴルフ
編集 配信	撮影映像(上記) もらい映像(右記)	上記撮影映像、開会式・閉会式 ⑤ローイング ⑦ボクシング ⑮自転車（トラック・レース/ロード・レース） ⑰相撲 ㉓バドミントン ㉔弓道（近的/遠的） ㉕ライフル射撃（25m） ㉖カヌー（スプリント/スラローム・ワイルドウォーター） ㉗アーチェリー ㉘空手道 ㉙銃剣道

【障スポ】

業務	対象範囲 [配信数の想定]	対象の競技会[競技会番号および競技名]
撮影	正式競技 全試合	①陸上 ②水泳 ③アーチェリー ④卓球（一般） ⑤フライングディスク ⑥ボッチャ ⑦ボウリング ⑧バスケットボール ⑨車いすバスケットボール ⑩ソフトボール ⑪グランドソフトボール ⑫バレーボール ⑬サッカー ⑭フットソフトボール
編集 配信	撮影映像(上記) もらい映像(右記)	上記撮影映像、開会式・閉会式 ④卓球（サウンドテーブルテニス）

6 業務の内容

(1) 競技会映像の撮影

ア 受託者は上記 5 で示した競技会の映像をライブ配信等できるよう、各会場に必要な撮影機材および人員を手配し撮影業務を行うこと。

【撮影機材例：カメラ（ENG やデジタルカメラ等）/三脚/各種ケーブル/バッテリー等】

イ 受託者は別紙一覧表や各競技会場の図面および現地視察を踏まえ、各競技会でのカメラ位置、使用するカメラの種類や台数、カメラワークの有無等を示した撮影計画を作成すること。なお、撮影計画は実行委員会や競技担当等の関係者と必ず調整すること。

- ウ 受託者は撮影計画作成後、カメラ位置・機材構成図を記した図面を実行委員会に提出すること。
- エ カメラ位置は各競技会場に掲出される JAPAN GAMES パートナーの看板等を撮影できる位置にすること。
- オ 撮影にあたっては、各競技の特長を把握した上で競技の迫力や臨場感等の魅力が最大限伝わるよう画角やカメラワークを工夫すること。
- カ 受託者は次の日時に実施する競技会場視察(実行委員会および JSP0 等が 2 班体制で視察を行う。)に同行し、カメラ位置等の確認を行うこと。ただし、やむを得ない事情により現地視察が困難な場合は、事前に実行委員会にカメラ位置等を提案すること。
 - 期間：令和 7 年 6 月 2 日（月）～ 6 日（金）
 - 場所：県内の決勝会場

(2) 競技会等映像の編集配信

- ア 受託者は前述の 5 で示した競技会の映像を指定のプラットフォームでライブ配信等できるよう、各会場に必要な機材を準備し、プラットフォームのサーバーにアップロードすること。
 - 【機材例：PC/ライブ配信機器/スイッチャー/ミキサー/マイク/各種ケーブル/発電機等】
- イ 国スポチャンネルについては、プラットフォーム側の仕様に対応する機材等を準備すること。なお、過去の大会において、次のライブ配信機器はプラットフォームとの連携を確認できているが、それ以外の機器を使用する場合は、プラットフォームの管理者等との調整の上、事前の連携確認が必要になる場合がある。また、配信機器の選定にあたってはアーカイブ配信用の映像（編集後の映像）の録画も考慮すること。
 - 【過去の大会で使用されたライブ配信機器（例）】
LiveShell シリーズ(株)Cerevo) / ウェブプレゼンター (BlackmagicDesign)
- ウ 受託者は各競技会場内に配信ブースを設け、必要な機材等を設置すること。
- エ 受託者は競技映像に加え競技情報（対戦カード、得点情報、その他競技の状況等）を PinP やテロップ等で補足しプラットフォームに配信すること。この場合、できる限り選手や競技の情報を補足し競技の魅力を伝えとともに、視聴者が楽しめるよう映像の質の向上に努めること。
- オ 受託者は別紙一覧表を基に配置する実況解説者の音声を組み合わせた映像を配信すること。なお、競技の臨場感を演出するためなるべく会場音声を拾うこと。
- カ 受託者は配信テスト（サーバーへの流し込みや映像音声のチェック等）を必ず行うこと。原則、配信日前日と当日（競技開始 1 時間 30 分前）にテストを実施し、サーバーへの配信状況を確認した上で、テスト結果を実行委員会等に報告すること。
- キ 配信開始・終了の連絡を実行委員会等へ行うこと。なお、配信開始及び終了時に必要となる操作方法等は別途実行委員会が示す。
- ク 配信中は必ず実際の配信状況のモニタリング（映像・音声チェック等）を実施すること。
- ケ トラブルの発生時は、事務局を含む関係者とともに早期の回復・改善に努めることとし、トラブルの内容については速やかに報告書を作成し、実行委員会へ提出すること。
- コ 配信に不具合・トラブルなど生じた際は、修正した動画を、原則当日中にアップロードすること。
- サ 競技の順延、中止等が発生した場合は速やかに事務局へ連絡すること。

- シ その他、サーバー運営関係（プラットフォーム側の仕様等）および各関係者との留意事項等は、調整中のため決定事項に従うこと。

(3) 実況者の手配ならびに解説者の調整等

- ア 受託者は別紙一覧表を基に実況解説者の各種調整・手続を行うこと。
- イ 受託者は国スポについてはすべての決勝等に、障スポは一部の試合に実況者を手配すること。
- ウ 受託者は実行委員会が調整した解説者の手配を行うこと。なお、受託者は解説者の調整状況を踏まえ、積極的に実行委員会に解説候補者を推薦すること。なお、別紙一覧表における解説者の配置数は今後変動することがある。
- エ 実況・解説の内容は受託者にて企画・調整・台本作成等を行うこととする。台本等は競技状況や選手・競技の魅力が分かりやすく視聴者が楽しめる内容とすること。なお、解説者が不在であっても実況のみで競技状況・魅力等を分かりやすく伝えられるようにすること。
- オ 実況者の配置に係る費用（謝金・旅費含む）は、当業務委託料の範囲内で受託者にて負担すること。
- カ 解説者の配置に係る費用（謝金・旅費含む）は原則次の金額とする。解説者が決まり次第、解説者への報酬支払等に関する契約変更を行う予定。

【謝金：3万円/回 旅費：実費負担】

(4) その他事項

【障スポの配信管理】

- ア 受託者は障スポの配信プラットフォームの整備（チャンネル制作等）を行うこと。
- イ 受託者は障スポの配信調整および配信管理を行うこと。この際、現地での撮影配信管理とは別に、全体の管理を行う者を配置すること。

【各種ブースの設営】

- ウ 受託者はカメラ位置を含む配信ブースや実況・解説ブースの設営計画を作成し、実行委員会等の承認を得ること。なお、競技運営（観客含む）の妨げにならないよう注意するとともに、会場によっては十分なスペースを確保できないことも想定されるため、会場に適したブース設営を行うこと。
- エ 屋内の諸室や運営テント等は競技運営上使用が難しいため、テント等の雨風対策は受託者にて準備し、各種環境・荒天時等（日光、気温、雨、風等）に対応できるようにすること。屋内の諸室や運営テント等が使用可能な場合は、施設管理者や会場地市町等と事務局にて調整すること。
- オ 配信ブースにおけるインターネット回線は実行委員会で光回線の敷設を行う。受託者は必要に応じてルーター等を準備しても差し支えないが、この場合事前に実行委員会と調整するとともに、回線事業者等との調整を行うこと。なお、水泳（オープンウォータースイミング）の会場については光回線の敷設が困難であるため、衛星回線又は異なる2キャリア以上の回線ボンディング機器等を使用するなどして通信環境を整備すること。

【回線仕様】

1Gbps のベストエフォート型インターネット回線。1 配信あたり上り速度 200Mbps を想定し、配信数に応じて回線を敷設する。なお、各会場にはプロバイダ契約を済ませたホームゲートウェイ（ルーターと ONU を含む）を実行委員会で設置する。

カ 受託者は撮影配信に必要な電源を確保すること。自家発電機が必要な場合は競技の進行等の妨げにならないよう消音の機器を用いること。

【連絡調整】

キ 受託者は本業務の進行管理等を行う統括チームを編成し、責任者を複数選任すること。

※編成・選任イメージ：統括チーム（統括責任者1名、統括責任者補佐2名等）

ク 受託者は本業務を円滑に実施するため、業務を分担し、それぞれの部門等に応じたチームを編成し、責任者（必要に応じて補佐含む）を選任すること。

ケ 統括チームおよび各部門責任者は、進捗状況を実行委員会に適宜確認、報告を行うとともに、本業務の円滑な実施に向け協議・打合せ等の連絡調整を主体的に行うこと。

コ 受託者は業務実施体制図（連絡先含む）を作成し実行委員会に提出すること。

サ 受託者は本業務の円滑な実施に向けて関係機関（会場地市町、競技団体、国スポチャンネル管理者等）との連携・協力・調整を行うこと。

7 成果物の納品

受託者は業務完了時に、業務完了報告書を作成し、次のとおり成果物を取りまとめて提出すること。

（1）提出期限

令和7年12月26日(金)までに報告すること。

（2）成果品

業務完了報告書 1式

競技会のライブ配信録画データ 1式

※データ納品は mp4 形式で HDD 等へ保存して提出すること

8 著作権・肖像権等の権利

（1）本業務の成果物に係る一切の著作権は実行委員会に帰属する。ただし、成果物に含まれる素材等のうち、受託者が従前から有する著作物、第三者の許諾を得て利用する著作物に係る著作権は、受託者または第三者に留保される。

（2）素材に含まれる第三者の著作権その他全ての権利に係る交渉、処理は受託者において行うこととし、その経費は委託料に含まれるものとする。

（3）受託者は実行委員会に対し著作者人格権を行使しないものとする。

（3）実行委員会は、当該成果物の内容を受託者の許諾なく自由に公表することができる。

（4）第三者からの異議申し立ておよび紛争の提起については、全て受託者の責任と費用負担で対応すること。

9 その他

（1）本業務を遂行する上で知り得た情報等については、第三者に開示または漏洩してはならない。

（2）本仕様書に記載のない事項で、本業務を遂行する上で必要と認められる事項が発生した場合は、実行委員会に速やかに協議し、その指示に従うこと。

（3）契約の締結後、改組等により、実行委員会の地位が承継される場合、本契約の当事者の地位も承継

されるものとし、また、実行委員会の承継団体が解散した場合、契約に基づく実行委員会の承継団体の当該成果品に関する権利は、滋賀県に承継されるものとする。